

「ため池」は、 何のためにあるの？

古代から人間は、生活の条件として水を求めて、生活や農耕に必要な水を大切にしてきました。

川や用水路などにたくさんの水があれば、生活に必要な水をいつでも使うことができます。しかし日本では、一年間にふる雨の量は多いのですが、季節によっては水が不足して、干ばつが起きることがよくあります。したがって、不足する水をためておく施設として、ため池が必要なのです。

たくさんあるため池

ため池は、今でも全国におよそ21万か所あります。とくに、雨が少なく日照りの害を受けやすい瀬戸内海えん岸や、大阪平野から九州北部にかけて、西日本にはたくさんのため池があります。今では、農業用水に使うだけでなく、公園や人々が水に親しむ場所としていかされています。

降水量平均値 (mm)
昭和16年～45年(30年間)

